

## 中小病院委員会「活動状況と今後の展望」

委員長 やわたメディカルセンター 石田美由紀

令和2年の会員名簿によると74施設が中小病院に該当します。中小病院委員会は石川県内の500床以下の施設に勤務する薬剤師の皆様の業務に役立つ内容に関する事業を企画運営しています。主な活動として「施設見学会」と「中小病院薬剤師研修会」があり、どちらも1年に1回ですが通算30回を超え30年以上の歴史のある活動となっています。

施設見学会への参加経験はありますか？日頃の業務の中で“他の病院はどうしているのだろうか？”“という疑問にこたえるべく見学会を企画しています。会議室での病院の概要説明以外に、薬局内や病棟等の現場へ出向き、実際の状況や機械を見学することで活発な意見交換につながっているとします。見学を受け入れて下さった各施設の皆様には大変お世話になりました。

研修会については、毎年テーマを決めて広く意見交換ができるように企画しています。診療報酬改定をふまえて病棟薬剤管理指導や訪問薬剤管理指導をテーマにグループディスカッションを行ったり、アンケート調査で各施設の現状把握後、特別講演で教えていただいたりしました。薬剤師が患者のベッドサイドへ出向くようになった事、医療安全やチーム医療への参画を期待されるようになった事等、薬剤師を取り巻く環境は刻々と変化しています。そのような変化を中小病院という病院の規模や薬剤師の人数を理由に避けて通ることなく、真摯に取り組む薬剤師の皆様と一緒に考えることの出来る研修会を目指しています。

日本病院薬剤師会にも中小病院委員会があり、都道府県の中小病院委員会と連携しています。令和2年度の日病薬中小病院委員会の活動方針は以下の3点です。1)他の業務関連委員会と連携し病院機能の分化に対応した委員会活動の在り方検討 2)薬剤業務委員会と連携し外来・病棟業務推進のための事業展開 3)医療政策部などと連携しチーム医療・病棟業務に関する事例と成果の収集と活用について。2)3)対応として、第3回 日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum シンポジウム開催は新型コロナウイルス感染の影響により中止となりましたが、中小病院薬剤師実践セミナーについて令和元年度に開催を見送りとなったりハ薬剤をテーマにe-learningにて配信を行う予定です。また、病院薬剤師業務推進事例集発刊も行っています。現在第5巻まで発行され、中小病院の実践事例を中心に医療機能に合わせた病院薬剤業務と薬物療法の最適化といった内容になっています。ぜひ手に取って各施設の業務の参考にしてください。日病薬として今後も回復期・地域包括ケアにおける薬剤師の関わり事例を収集し、日病薬雑誌への掲載が予定されています。

中小病院委員会は今後も日病薬の中小病院委員会と連携しながら、会員薬剤師の皆様が積極的に参加できる内容、質向上や業務改善に役立つ内容を検討企画していきたいと思っています。中小病院委員会へのご希望やご意見をお待ちしています。